コウノトリと共に生きる

コウノトリのための4つの取組み

肉食で大食漢のコウノトリが暮らしていくためには、カエルや小魚、昆虫など餌となる生きものが豊富な自然環境が必要です。豊岡では、"コウノトリも住めるまち"を目指してコウノトリと共に生きる環境づくりなどの取組みを行っています。

① 湿地づくり

ハチゴロウの戸島湿地(3.2ha)

戸島区(城崎地域)にある人工湿地。湿田の一部を兵庫県と豊岡市が整備しました。湿地内に人工巣塔があり、管理棟から巣塔の様子を観察することができます。

エリアMAP Ⓐ

加陽湿地(15ha)

国が出石川河川敷の農地を買収して整備した湿地です。加陽水辺公園に隣接し、自然保育や自然体験イベントが実施されるなど人と生きものでにぎわう地域づくりの拠点にもなっています。

エリアMAP Ⓑ

② 水田ビオトープづくり

市内の休耕田を活用して、ビオトープ(生き物の生育場所として作られた空間)を設置しています。多様な水生生物のすみかとして重要であるほか、小学校の生きもの調査でも利用しています。

③ 環境教育

小学校の総合学習で生きもの調査や出前授業を実施しています。また、地域で行われる環境学習に講師を派遣する「出張！田んぼの学校」などのサポートや高校生の調査研究学習への補助なども行っています。

④ 環境創造型農業の取組み

コウノトリ"も"住める豊かな環境は、人間にとっても持続可能で健康的に暮らせる環境であるという考えのもと、できるだけ農薬や化学肥料に頼らず、環境に配慮してさまざまな生きものを育む「コウノトリ育む農法」などに取り組んでいます。

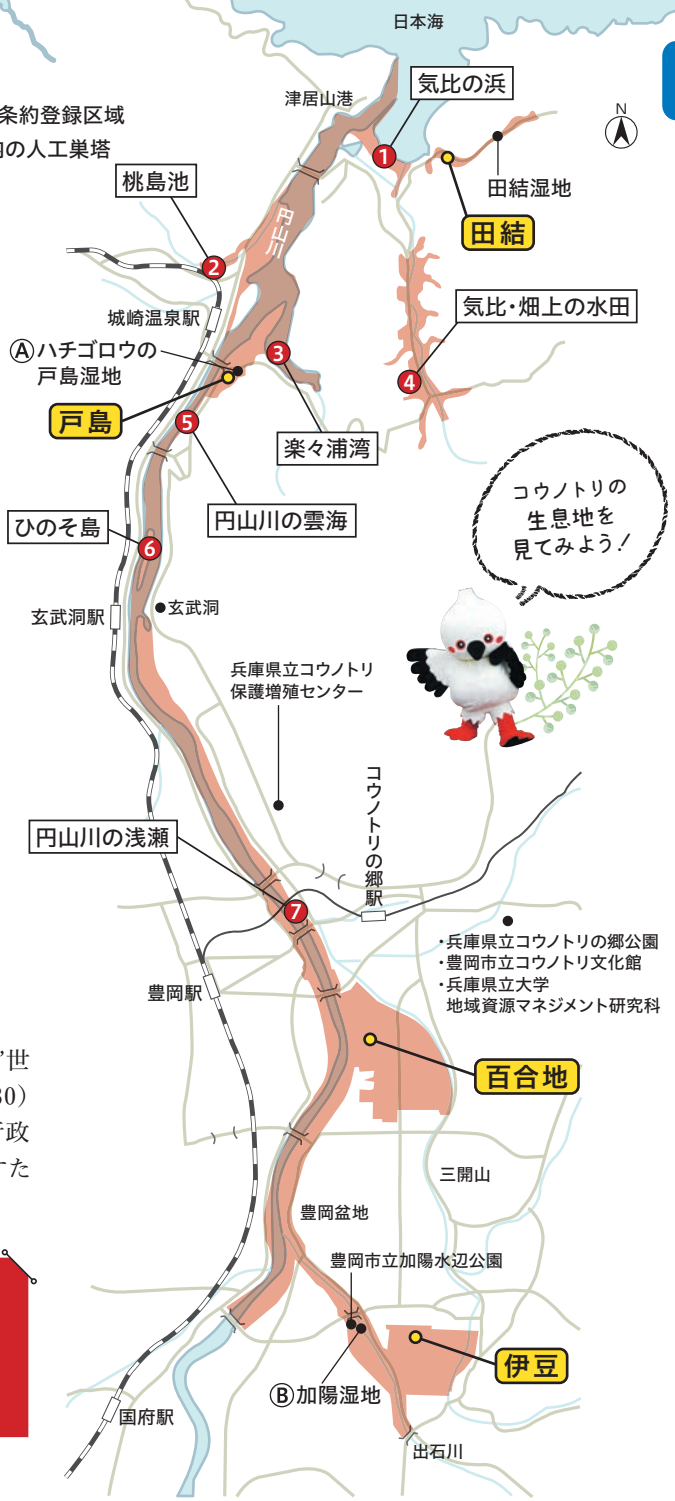
豊岡市コウノトリ基金

個人や企業・団体などからいただいた寄付金は、コウノトリ"も"住めるまちづくりに活用しています。

エリアMAP

■ ラムサール条約登録区域
● 登録区域内の人工巣塔

美しい自然環境を守っていく――



Attention

ラムサール条約に登録！「円山川下流域・周辺水田」

2012（平成24）年7月、円山川下流域と周辺の水田560ヘクタールが"世界的に重要な湿地"として、ラムサール条約に登録され、2018（平成30）年10月、さらに534ヘクタールが拡張登録されました。市民・団体・行政などが関わりながら、失われた生態系の再生とコウノトリと共に暮らすための活動が行われており、これらの取組みが世界に認められました。

ラムサール条約とは

湿地の保全に関する国際条約。湿地を「保全・再生」し、「賢明に利用（ワイズユース）」すること、そしてこれらを促進する「交流・学習」が、条約の三つの目的です。

歴史文化財をたどる

豊岡市の歴史

豊岡市の歴史は神話の時代から始まります。『古事記』『日本書紀』は出石神社の祭神「アメノヒボコ」は韓国新羅国の王子であったと伝え、水害に苦しんでいた豊岡の地を開拓したとの伝説が残ります。奈良時代には、但馬国を治める役所「国府」が設置され、近くに官寺である「国分寺」も置かれました。

室町時代には、幕府の重鎮であった山名氏が但馬国の守護大名となりました。山名一族は全国の6分の1を治め、その惣領家が但馬山名氏でした。山名氏は出石に城を築き拠点としましたが、戦国時代の終わりに統一を狙う織田軍に攻められ、但馬山名氏は滅亡しました。

江戸時代になると江戸幕府により出石藩と豊岡藩がおかれました。出石藩には出石城が、豊岡藩には陣屋が築かれともに城下町として栄えました。この他、温泉地で知られる城崎は温泉町として、また竹野の港は北前船の寄港地としてにぎわいました。

明治時代の当初、豊岡県が設置され豊岡が県庁所在地となりました。すぐに兵庫県に編入され豊岡の県庁は支庁となりましたが、周囲に裁判所、税務署、警察署、病院などが整えられ、引き続き豊岡は但馬の中心都市としてその役割を担いました。

豊岡市の文化財

中嶋神社

お菓子の神様「タジマモリ」を祭る神社です。室町時代に建立された本殿は中央に柱がくる「二間社流造り」という珍しい様式の建物です。毎年4月に開催される「菓子祭」では全国の菓子業者が商売繁盛の祈願に訪れています。

国指定文化財（建造物）

有子山城跡

有子山城は1574（天正2）年、山名祐豊によって標高321mの急峻な有子山の山頂に築かれました。1580（天正8）年、秀吉の攻撃を受けて落城し、山名氏も滅亡。その後、秀吉の家臣らが城主を務めましたが、1604（慶長9）年に小出氏により山麓に出石城が築かれると、廃城となりました。現在は、遺構として主郭や階段状に残る曲輪を見ることができます。また、山頂まで続く約40分の登山コースでは、迫力ある石垣や堀切を鑑賞しつつ、戦国時代の山城の険しさを体感できます。

国指定文化財（史跡）

生産者の愛情が注がれた全国の逸品の数々
日本は「特産品」であふれている
注文方法はどれでもOK！
電話　FAX　インターネット
詳しくは　わが街とくさんネット　GO
CHECK！
わが街とくさんネット
SCINEX 株式会社サイネックス
〒543-0001 大阪府大阪市天王寺区上本町5丁目3-15
TEL:06-6766-3360 FAX:06-6766-3345

国指定文化財（史跡）

但馬国分寺跡

741（天平13）年、聖武天皇の詔により全国に造営された国分寺の一つです。東西160mの寺域に金堂、塔、中門などの伽藍（がらん）が建ち並び、金堂と中門が回廊でつながっていました。また2022（令和4）年には、主要伽藍の一つである講堂跡が発掘調査で初めて確認されました。これまでの調査で発見された木簡や高級陶器など貴重な出土品は豊岡市立歴史博物館に展示されています。

- 日高町祢布808（豊岡市歴史博物館）
- ¥ 大人500円、大学生・高校生300円、小中学生250円
- 休 水曜日、年末年始（12/28～1/4）
- 問 豊岡市立歴史博物館 ☎42-6111

温泉寺

国指定文化財（建造物、彫刻、絵画）

奈良時代に道智上人が創建したとされる古刹です。城崎温泉を見下ろす山腹に建つ本堂をはじめ、十一面観音立像、木造千手観音立像など、5件の国指定重要文化財など貴重な文化財を多数有しています。また開湯から1300年の歴史を有する城崎温泉の始まりを伝える古文書が残るなど、全国からケガや病気の治療のために来湯した、多くの参拝客の信仰のよりどころとなってきました。近くには温泉寺の宝物を展示する城崎美術館があります。

豊岡市出石重要伝統的建造物保存地区

国指定伝統的建造群保存地区

出石町にある出石城跡の周囲には、江戸時代に形成された町並みがよく残っています。江戸時代初期からの街路構成がそのまま残り、狭い間口や格子窓が特徴的な町屋が多く保存されています。この他、生糸を扱っていた商家（出石史料館）をはじめ、武家屋敷（出石家老屋敷）、社寺、酒蔵などもあります。また出石城の櫓台（やぐらだい）跡に建つ辰鼓楼や、近畿地方最古の芝居小屋である永楽館など、明治時代に建てられた建物も、城下町の遷り変わりを物語る建造物として貴重です。

玄武洞

国指定天然記念物

玄武洞では、約160万年前に起こった火山活動によって、流れ出たマグマが冷えて固まるときに規則正しいきれいな割れ目をつくり出し、柱状に節理が形成された地形を見ることができます。公園内には、5カ所の洞窟があり、そのうち玄武洞、青龍洞は、国の天然記念物に指定されています。また、玄武洞は、地球磁場の逆転が発見された場所として世界的にも重要な場所です。2022（令和4）年には、自然を見せる屋外ミュージアムとしてリニューアルしました。

- 赤石1347
- ¥ 大人500円、学生300円
- 休 年末年始（12/29～1/3）
- 問 玄武洞公園 ☎22-4774

自然遺産「山陰海岸ジオパーク」

山陰海岸国立公園を中心とする貴重な自然遺産エリア「山陰海岸ジオパーク」は、日本に9カ所しかない「ユネスコ世界ジオパーク」に認定されています。京都府、兵庫県、鳥取県の広大なエリアで構成され、豊岡市も含まれます。エリア内では、日本列島が大陸の一部であったころから現在に至るまでの大地の変遷が確認できるとともに、その上に生きる動植物の営みや歴史・文化を感じることができます。市内の見どころは竹野海岸、日和山海岸、玄武洞公園、神鍋高原などです。

山陰海岸ジオパーク

スーパーでは売っていない
安くて美味しい業務用食品

食材は6,000アイテム以上！
24時間365日注文可能！
テイクアウト用商品も充実！
個人でも購入可能！

お店で食べるプロの味をお家で楽しみたいな
そろそろお店でテイクアウト始めたいな

販売価格10,000円以上のご購入で
（税込価格10,800円～11,000円）
全ての送料・代引き手数料が無料！
〈北海道・鹿児島は20,000円（税込価格21,600円～22,000円）以上、沖縄は30,000円（税込価格32,400円～33,000円）以上〉

お店の仕入れやお手軽な買い物に便利！

まずは会員登録を！
（登録料・年会費無料）

全国の皆様に満足をお届けします。
食彩ネット

詳しくは 食彩ネット 検索

運営会社 株式会社サイネックス
〒543-0001 大阪市天王寺区上本町5丁目3-15 ☎:06-6766-3380 FAX:06-6766-3345

偉人に学ぶ

東京大学初代総長
加藤弘之（1836～1916、出石町谷山）

加藤弘之は、立憲政体論を提唱し、幕府の直臣に抜擢され開成所（東大の前身）教授となりました。明治維新後は新政府の官僚となり、天賦人権論を唱え、賤称廃止の建議を行いました。東京大学初代総長をはじめ、貴族院議員など官界学会の多数の要職を歴任し、明治の総帥として頂点を極め、大きな功績を残しました。

粛軍演説を行った政治家
斎藤隆夫（1870～1949、出石町中村）

斎藤隆夫は、42歳で衆議院議員に初当選し、37年間にわたって政治家として活躍しました。「日本の国は立憲君主国であり、我々国民はこの道を進むべきである。しかし、政治家の中には軍と陰で手を結んで政治上の野心をとげようとする者があることは見逃すことができない…」と、軍部台頭の時代に国会で粛軍演説を行いました。軍国主義に屈しなかった「憲政の神様」として、今も尊敬されています。

天気予報の創始者
桜井　勉（1843～1931、出石町伊木）

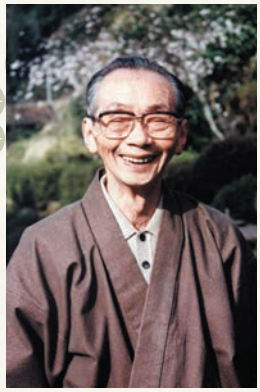
桜井勉は、維新の混乱期に出石藩の藩政改革に参与し、一般人や女子のための学校を創設しました。その後、明治政府の官僚となり、気象観測所を整備し、天気予報の父と呼ばれています。そのほかに徳島県知事、山梨県知事、台湾新竹知事などを歴任。退官後に著した「校補但馬考」は但馬の郷土史研究の基本資料となっています。

砂防の父
赤木正雄（1887～1972、引野）

赤木正雄は、日本において砂防の重要さをいち早く説いた人物で「砂防の父」とも呼ばれました。「国を治めんとすれば水を、水を治めんとすればその上を治めよ」と治水、砂防一筋を貫き、日本の砂防技術の基礎を築きました。内務省土木局内に砂防課を創設し治水機構の根本的な改正を果たすとともに、全国治水砂防協会の拠点施設・砂防会館を建設するなど治山治水に尽くしました。

いのちの教育を探究

東井義雄（とうい よしお）（1912～1991、但東町佐々木）



東井義雄は、ひたすら「いのちの教育」の探究に尽くし「日本のペスタロッチー」と呼ばれた教育者です。小学校を中心に40年間にわたって教師を務め、どの子も子どもは星を目指し、命の不思議、命のすばらしさ、そして「教育の原点」を説いてきました。今でも彼の残した言葉や教えを心の支えにする人が全国にたくさんいます。

不撓不屈（ふとう ふくつ）の冒険家

植村直己（うえむら なおみ）（1941～1984、日高町上郷）

写真提供：文藝春秋

植村直己は、日本人初の世界最高峰エベレスト登頂者で、世界初五大陸最高峰登頂、北極点犬ぞり単独到達を成功させるなど、世界の冒険史上に残る数々の偉業を達成しました。自分の目標に向かってひたむきに取り組んだ姿勢は世界の人々に夢と希望を与え、謙虚で人を思いやる植村直己は今もなお世界中の人々から愛され続けています。

そのほかの主な偉人

沢庵　宗彭　たくあんそうほう（1573～1645　出石）
禅僧、幕府に仏道の自由を主張

大石　りく　おおいしりく（1669～1736　豊岡）
大石内蔵助の妻

上田　広甫　うえだこうほ（1791～1861　日高）
華道未生流2世家元

斎藤　畸庵　さいとうきあん（1805～1883　城崎）
南画家

橋本　龍一　はしもとりゅういち（1846～1894　但東）
但馬での機械製糸業の礎を築く

小坂　象堂　こさかしょうどう（1870～1899　出石）
洋画家

吉村寅太郎　よしむらとらたろう（1848～1917　豊岡）
第二高等学校長（東北大学）

沖野　忠雄　おきのただお（1855～1924　豊岡）
治水港湾工事の父

浜尾　　新　はまおあらた（1849～1925　豊岡）
文部大臣、枢密院議長、東京大学総長

中江　種造　なかえたねぞう（1846～1931　豊岡）
鉱山王、豊岡上水道の父

久保田　譲　くぼたゆずる（1847～1936　豊岡）
広島師範学校長、文部大臣

河本重次郎　こうもとじゅうじろう（1859～1938　豊岡）
日本眼科学界の進展に貢献

巌本　善治　いわもとぜんじ（1863～1943　出石）
女子教育に尽力、女学雑誌を発刊

太田垣士郎　おおたがきしろう（1894～1964　城崎）
関西電力初代社長、関西経済連合会会長

谷垣　長蔵　たにがきちょうぞう（1880～1967　日高）
有明海干拓者

和田　完二　わだかんじ（1896～1968　竹野）
丸善石油社長

西岡　時雄　にしおかときお（1893～1981　日高）
日本医学放射線学会会長

三木　瀧蔵　みきりゅうぞう（1899～1981　豊岡）
神戸貿易協会会長、神戸生糸取引所理事

京極　杞陽　きょうごくきよう（1908～1981　豊岡）
俳人、「ホトトギス」同人、「木兎」主宰

森田　子龍　もりたしりゅう（1912～1998　豊岡）
書家

伊藤　清永　いとうきよなが（1911～2001　出石）
洋画家、文化勲章受章

仲田　光成　なかたこうせい（1899～2003　竹野）
書家、毎日書道展名誉会員

大友　　工　おおともたくみ（1925～2013　出石）
プロ野球選手、コーチ、投手三冠・沢村賞などを獲得

1 たんとうチューリップまつり

2 たけの海上花火大会

祭り&イベントを楽しむ

城崎温泉や城下町出石を有する豊岡の年間観光客は約400万人！
楽しさいっぱい！ぜひ、家族でお出掛けください。

3月 中旬 出石初午大祭
所 出石城跡周辺
問 豊岡市商工会出石支部 ☎52-2113

4月 中旬 出石そば喰（く）い大会
所 出石庁舎前広場
問 但馬國出石観光協会 ☎52-4806

出石の特産【皿そば】を何枚食べられるかで競い合います。80皿以上食べる人も！

中旬～下旬 たんとうチューリップまつり 1
所 たんとう花公園
問 但東シルクロード観光協会 ☎54-0500

中旬 中嶋神社菓子祭
所 中嶋神社
問 豊岡観光協会 ☎22-8111

下旬 城崎温泉まつり
所 城崎温泉街
問 城崎温泉観光協会 ☎32-3663

5月 上旬 北前まつり
所 北前館周辺
問 北前まつり実行委員会 ☎47-2020

上旬 幟（のぼり）まわし
所 出石神社
問 但馬國出石観光協会 ☎52-4806

下旬 奈佐森林公園まつり
所 奈佐森林公園
問 奈佐森林公園管理事務所 ☎24-7411

6月 上旬 鼻かけ地蔵尊祭
所 城崎町楽々浦
問 城崎温泉観光協会 ☎32-3663

7月 下旬 日高夏まつり
所 ＪＲ江原駅周辺
問 豊岡市商工会日高支部 ☎42-1251

3 柳まつり

4 出石秋まつり（喧嘩（けんか）だんじり）

下旬 **たけの海上花火大会** 2
所 竹野浜
問 たけの観光協会 ☎47-1080

城崎温泉 夏物語
所 城崎温泉街
問 城崎温泉観光協会 ☎32-3663

8月 上旬 **柳まつり** 3
所 豊岡市街地
問 豊岡商工会議所 ☎22-4456

上旬 **城崎温泉 ふるさと祭り**
所 城崎温泉街
問 豊岡市商工会城崎支部 ☎32-4411

下旬 **大谿（たに）川納涼灯籠流し**
所 城崎温泉街
問 城崎温泉観光協会 ☎32-3663

下旬 **愛宕（あたご）の火祭り**
所 伊福部神社
問 但馬國出石観光協会 ☎52-4806

9月 中旬～下旬 **豊岡演劇祭**
所 豊岡市内
問 市役所観光政策課 ☎21-9016

市内のいたるところで演劇やパフォーマンスが繰り広げられます。

下旬 **但州湯島の盆**
所 城崎温泉街
問 豊岡市商工会城崎支部 ☎32-4411

10月 中旬 **城崎だんじり祭り**
所 城崎温泉街
問 城崎温泉観光協会 ☎32-3663

絢爛豪華で勇壮な祭り。太鼓と鐘の響きに、見る者誰もが胸躍らせます。

中旬 **出石 秋まつり（喧嘩（けんか）だんじり）** 4
所 出石町内
問 但馬國出石観光協会 ☎52-4806

次はどれに参加する？

下旬 **出石藩 きもの祭り**
所 出石町内
問 但馬國出石観光協会 ☎52-4806

忍者参上！

屋台村や時代衣裳のパフォーマンスなど、出石の着物に特化したイベントです。

11月 上旬 **出石 お城まつり**
所 出石城跡周辺
問 但馬國出石観光協会 ☎52-4806

下旬 **かに王国開国式（絶叫大会）**
所 ＪＲ城崎温泉駅前
問 城崎温泉観光協会 ☎32-3663

下旬 **とよおか津居山港かにまつり**
所 津居山港小島岸壁
問 豊岡観光協会 ☎22-8111

特産にふれ名物を食べる

豊岡には、古くから伝わる伝統工芸品や豊かな自然に育まれたおいしいものがいっぱい！自慢の特産・名物を紹介します。

豊岡杞柳細工

伝統工芸士が創り出す芸術作品です

豊岡市の中央を流れる円山川。その荒地に自生するコリヤナギを乾燥させ、麻糸で編んで作った容器を『柳行李』といいます。江戸時代には飛脚や富山の薬売りにも愛用されていました。1900（明治33）年のパリ万博をきっかけに、海外にも輸出され大きく発展し、『かばんのまち豊岡』の礎となりました。

柳行李を含むカゴなどの柳細工が、1992（平成4）年に国の伝統工芸品に指定されています。

かばん

長い歴史と職人の技が生んだ豊岡のかばん

明治時代、柳行李に取手とベルトを付けた『行李かばん』から始まったかばん産業。豊岡は、その流通経路と縫製技術を生かし、日本有数のかばん産地としての地位を築いてきました。現在では、地域ブランド「豊岡鞄」の取組みをはじめ、多様化するニーズに応えるべく進化を続けています。

出石焼

唯一無二の"純白"を誇る磁器

江戸時代中期に地元で白磁の原石（柿谷陶石）が発見されたことから磁器作りをしたのが始まりとされています。神秘的なまでの白さは他に例を見ないほどです。1980（昭和55）年、陶工の磨かれた技が生み出す絹のような風合いと繊細な彫刻が認められ、国の伝統的工芸品に指定されています。

城崎麦わら細工

県の伝統的工芸品に指定

細かい手作業により美しい模様を作り出す城崎麦わら細工は、江戸時代享保年間に因州（現在の鳥取県）の住人「半七」が城崎に湯治に来ている間、宿賃の足しにと麦わらを染めて、こま、竹笛などの玩具に貼って土産としたのが始まりとされ、その後、糸巻き、指輪などが考案されたといわれています。

夏の竹野を代表する味覚です！

活イカ

生きたまま調理されたイカの刺身は、透明な身とコリコリの食感、かむほどに口に広がる甘さが魅力です。白イカは、活造りの他、釜飯、イカ団子、塩辛などで食されています。

澄んだ空気と清流の側で生まれるこだわりそば

床瀬のそば

石臼で挽いたそば粉を地元産の自然薯だけでつないだ手打ちそば。“三たて”製法にこだわる他、川魚や山菜などを使った季節の料理も楽しめます。

そば打ち体験ができる店もあります！

出石皿そば

出石は約40軒もの皿そば店があるそば処です。“三たて（挽きたて、打ちたて、ゆがきたて）”製法で作られるそばが白磁の小皿に盛られています。店舗では通常1人前5皿で供されます。

コシの強さ、舌ざわりの良さ、口に広がる香りが命！

赤花そば

赤いそばの花が咲くので「赤花」ともいわれています。地元産そば粉を使い、つなぎを一切使用していない十割そばを味わえます。

生産者が愛情を注いだ人と自然に優しいお米

コウノトリ育むお米

「コウノトリのエサを増やす」という明確な目的のもと、農薬や化学肥料に頼らず、おいしいお米と多様な生きものを同時に育む「コウノトリ育む農法」。この農法で作られたお米は「コウノトリ育むお米」としてブランド化され、国内はもちろん、海外の高級レストランでも提供されるなど、多くの方に愛されています。